

支援地の人々と共に歩む

エフアジパン年次報告書 2010

ご挨拶



このたびの東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災されたみなさまへ心よりお見舞い申し上げます。

エファジャパンの2010年度が終わりを迎えようとしていた今年3月、未曾有の震災が東北を中心とする東日本を襲いました。東京にある事務局では物が落ちたり、スタッフが帰宅難民となるなど多

少影響を受けましたが、次第に明らかになった東北地方の甚大な被害には言葉もありませんでした。

日本被災の報を受けてエファジャパンに寄せられた支援地からのお見舞いの言葉は、すでに広報誌やHP、メールマガジンを通じてご案内しているところですが、大人から子どもまでたくさんの関係者が日本の支援者を心配し、メッセージを寄せたり募金活動に参加するなど、日本のために祈り、行動する様に胸が熱くなりました。振り返ってみれば、これまでエファジャパンが支援者のみなさまと一緒にやってきた活動は、支援地の子ども達の権利を保障し日常の生活を支えようとする努力そのものでした。しかし私達が支援地に送ったものは物質的な援助や知識だけでなく、社会の中で不利な状況にある人々に対する「あなた達は孤独じゃない」という彼らと共に歩む私達の想いであり、それは今回の震災で彼らから私達にそのまま返された温かい贈り物でもあります。

エファジャパンは、これまで築いた支援地とのつながりをこれからも大切に育て、子ども達の権利が守られる社会の実現のために活動を続けてまいります。そのために、支えてくださるみなさまのより一層のご支援と叱咤激励を心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人エファジャパン
理事長 イーデス ハンソン

— 目 次 —

| | | | |
|---------------|-----|---------|-------|
| ご挨拶 | 2 | タイ | 9 |
| 2010年度活動ハイライト | 3 | 緊急・人道支援 | 9 |
| エファジャパンの組織 | 3 | エファグッズ | 10 |
| カンボジア | 4～5 | 国内事業 | 11～12 |
| ラオス | 6～7 | 会計資料 | 13～15 |
| ベトナム | 8 | | |

2010 年度活動ハイライト

・・・国内事業・・・

・書き損じハガキ収集での寄付 100 万円を超える

2010 年度の書き損じハガキ収集は、多くのみなさまのご協力により約 134 万円に。2009 年度の約 44 万円から約 3 倍になった。

・・・海外事業・・・

・ベトナム 障がい児支援開始

2009 年度に実施した調査を基に、ハイフォン市の障がい児教室 5 カ所への支援を開始。

・タイ ビルマ移民の子ども支援開始

タイ在住のビルマ人移民の子ども達のための教育施設、パラミラーニングセンターへの支援を開始。2010 年度は就学前教育用の教室と女子寮を備える校舎建設。

エファジャパンの組織

支援者

会 員

正会員…195 人
シニア会員…25 人
賛助会員個人…50 人
賛助会員団体…45 団体

総会
(正会員で構成)

- ・エファパートナー
- ・一般寄付者 (個人)
- ・一般寄付者 (団体)
- ・事業指定寄付者 (個人)
(ラオス・ようちえん募金・荒川さん募金、他)
- ・事業指定寄付者 (団体)
(ベトナム・ラオス・カンボジア・緊急人道支援、他)
- ・ボランティア
(事務局ボランティア・イベントボランティア、他)

理事会

| | |
|------|-----------|
| 理事長 | イーデス・ハンソン |
| 副理事長 | 植本 眞砂子 |
| 理事 | 大石 芳野 |
| 理事 | 大島 芳雄 |
| 理事 | 岡本 博 |
| 理事 | 佐藤 克彦 |
| 理事 | 玉井 一匡 |
| 理事 | 徳永 秀昭 |
| 監事 | 千葉 信夫 |

事務局

| | |
|-------|--------|
| 事務局長 | 大島 芳雄 |
| 国内事業 | 五十嵐 香織 |
| 広報 | 宮原 朝香 |
| 事業担当 | 高田 みほ |
| ラオス駐在 | 中村 いずみ |

2011 年 3 月 31 日 時点

カンボジア

Cambodia

カンボジア概況

・支援が必要な背景

ポル・ポト政権の恐怖政治によって社会システムが崩壊したこの国は、人材の養成が急務です。しかしながら、偏った経済成長により貧富の格差が広がり、貧しさ故に教育を受ける権利が無視された子ども達が大勢存在します。

・支援の目標、目的

ポル・ポト政権時代の知識階級の虐殺や、その後の内戦、不当な経済制裁による復興の遅れから、教育分野においても就学率や識字率が低く、また教育の質も高いとは言えません。より多くの子ども達に教育の機会を提供し、また教育の質の向上をめざします。

カンボジア子どもの家奨学金事業

■子どもの家概況

1997年に、自治労の支援によって首都プノンペンに国立幼稚園教員養成学校および付属幼稚園として設立されました。養成学校は2年制で、2009年度から1年生が200人、2年生が200人、合計400人が学んでいます。幼稚園には90～100人の幼児が通園しています。カンボジア唯一の幼稚園教員を養成する施設として、国全体の幼児教育と保育に大きく貢献しています。

■奨学金事業

「ようちえん募金」をもとに、園児30名と訓練生20名に月25ドルの奨学金を10カ月間支給しました。2010年秋の新学期からは、園児30名と訓練生25名に月25ドルの奨学金を支給しています。

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる最も大切な時期です。豊かな感性を養い、就学後の学習意欲や学習態度の基礎となる好奇心や探究心を身につけるために、幼児教育は重要です。また幼児教育は、初等教育への就学率の向上、退学率の減少、卒業率の向上に効果があります。スラムの子どもが幼稚園に通園することで、より多くの子どもが小学校に入学し、児童労働から解放され、保護者が安心して仕事に専念できる環境をつくれます。幼稚園の給食は、スラムの子どもには大切な栄養源でもあります。



訓練生と園児

地方出身の貧しい訓練生にとって、実家を離れ大都市プノンペンで学ぶことは、寮生活とはいえ容易ではありません。実習で作成する教材の材料費や、教育実習で他の幼稚園に行くための交通費は大きな負担になっています。2010年度は出身地で幼稚園教員として働いている元奨学金受給生を2名訪問し、養成学校で作成した教材が地方の教育現場で重要な役割を果たしている状況が確認できました。

■自転車寄贈

教育実習時の交通費が訓練生の大きな負担になっているため、書き損じハガキ収集による寄付で自転車50台を寄贈しました。



■保育士による技術指導ボランティア

日本の公立保育園で保育士として働いていた荒川智子氏は、退職後毎年数カ月間、養成学校で保育指導のボランティアをしてきました。旅費も教材費も全て自己負担していたため、活動が継続できるよう2009年度から活動費の助成を開始しました。2010年度も引き続き活動費の一部を助成しました。

スラム内ノンフォーマル教育（寺子屋教室）運営支援

■スラム概況

プノンペン市内には、2005年には700カ所のスラムがあると言われていましたが、高層オフィスビルや高級住宅地が建設され、急速な都市化が進んでいます。その圧力を受けながら、スラムの人々は日々の生活に追われており、子ども達も家計を助けるために働かなければならないため、初等教育でさえ未就学や中途退学が多い状況です。

■SCADP

カンボジアのNGO、SCADP（Street Children Assistance and Development Programme 「ストリートチルドレンの支援と育成事業」）は、1992年に創設者のイム・ソカリィ女史がプノンペンでひとりのストリートチルドレンと出会い、その子にノートと鉛筆をあげて読み書きを教え始めたことから活動が始まりました。その後、1998年に内務省から市民団体としての正式な認可を受け、教育事業を中心として、職業訓練や伝統文化の保護などの活動をプノンペン市と地方5県で実施しています。

■寺子屋教室

SCADPと連携して、プノンペン市内のスラム3カ

所で寺子屋教室を開設し、6歳から15歳くらいまでの子どもが合計212名登録されました。教室になる部屋を借り、先生を雇い、子ども達には教材、文具、カバン、制服を支給しました。授業は午前と午後の2部制で、読み書き、計算、健全な社会生活を送るための知識などを教えます。



2009年度には、日本の小学校教員による教授法の指導を行いました。寺子屋の先生達は学んだことを少しずつ実践しています。

寺子屋教室の運営には、連合「愛のカンパ」の助成をいただいています。

その他の活動

■国境地帯での子どもの保護支援

2月4日からカンボジアとタイとの国境で発生した武力衝突で、カンボジア側の住民多数が国境地帯から避難しました。国境地帯で、子どもの保護施設や寺子屋教室を運営しているSCADPに緊急資金援助を行いました。

■生活改善活動

SCADPの本部には、様々な理由で保護者と生活できない子ども40～50名が保護され生活しています。日常的な健康管理を含む生活改善への協力を始めました。



カンボジア事業の今後

子どもの家奨学金事業は、広く募金を募り園児と訓練生への奨学金を継続するとともに、訓練生の交通手段になる自転車も引き続き寄贈します。また、幼児教育の質を向上させるため、元保育士の荒川智子氏の活動を応援します。

より多くの子ども達に教育を受ける権利を実現するため、ノンフォーマル教育をカンボジアのNGO、SCADPと共に推進します。また、SCADPの組織強化を支援し協力関係を拡大します。

ラオス Laos

ラオス概況

・支援が必要な背景

ラオスでは首都圏内でも学校に図書室のないところが多くあり、首都以外では本に触れる機会が非常に限られています。子ども達が読書を通じて知識を拡げ、広い世界に興味を持てるよう、今後もコミュニティ図書室の支援が必要とされています。また、子ども文化センター（CCC：日本の児童館のような施設）は子ども達が学校で学ばない伝統文化継承や情操教育、子どもの権利などに関して学ぶ重要な教育の場となっています。

・支援の目標、目的

首都ではヴィエンチャン市立図書館を通じ、地方ではコミュニティ図書館・図書室を通じて、子ども達が教科書以外の本を読み、様々な知識を得、可能性を拡げることができるようにします。また、地方 CCC の支援により、子ども達が情操教育を受ける場を提供します。

図書館事業

■図書館概況

ラオスでは公共図書館が全県にある状態ではなく、学校でも教科書さえ全生徒が所持している状態ではありません。学校図書室がある学校は少なく、あっても教科書と図書箱（蔵書を入れた木製の箱）しかない学校がほとんどです。このように図書館・図書室の必要性が高いことから、エファジャパンは図書館・図書室支援を継続しています

■ヴィエンチャン市立図書館・多目的ホール支援

自治労中央本部と3県本部（北海道・東京都・愛知県）のご支援で2006年に完成・開館したヴィエンチャン市立図書館は、隣接するヴィエンチャン中高校の生徒を始め多くの市民が利用しています。この図書館は月曜～金曜の9時～18時、土曜の9時～16時に開館しています。2010年の利用者はのべ78,175人（内学生58,149人）、貸出人数はのべ5,245人、貸出冊数は



のべ11,330冊（内大人向け10,388冊、子ども向け942冊）でした。蔵書数も着実に増え、隣接する多目的ホール

での行事も頻繁に実施されています。エファジャパンは、自治労東海地区連絡協議会からのご支援と共に、月々の運営費・超過勤務代・契約職員1人分給与・新聞定期購読代・図書館内備品費・蔵書代を支援しました。

なお、館長、副館長は2010年度中も欠員のままでした。施設や設備の整備はほぼ完了していながら、管理者の不在は自立に向けた運営体制づくりを遅らせています。

■コミュニティ図書館支援

2010年度には自治労新潟県本部のご支援でヴィエンチャン郊外タートン村にコミュニティ図書館を建設しました。ラオス図書館協会との連携で実施しているコミュニティ図書室支援事業では、地方の村々で図書室がないところに図書室を設置しています。2010年度には、日本の個人グループからのご支援で25村にコミュニティ図書室を設置しました。



タートン村図書館



図書室支援

地方子ども文化センター支援事業

■子ども文化センター (CCC) 概況

子ども文化センター (CCC) は、1996年に自治労「アジア子どもの家プロジェクト」のひとつとして首都ヴィエンチャンに開設した「ラオス子どもの家」から普及しました。ラオス政府は全17県での設立をめざしていましたが、2010年度のセコン県 CCC で完了しました。今後は県レベルだけでなく、郡レベルにも CCC を作り、地方の多くの子ども達に情操教育の機会を提供する必要があります。

■セコン県 CCC

日本政府外務省 NGO 連携無償資金をいただいて実施してきた、セコン県 CCC 設立支援事業は2010年11月に終了しました。この事業期間中に4度の研修を開催し、多くのジュニアリーダー (JL: 先生を補佐して年少の子ども達を指導する年長の子ども達) が育成されました。本の読み聞かせ、伝統音楽・舞踊、スポーツ、絵画、織物、裁縫、木工、リサイクル工作など様々な活動に子ども達が参加できるようになりました。



■カムワン県・シェンクワン県 CCC

自治労大分県本部には2007年から3年間で支援を継続していただきました。この期間中、両県の CCC には伝統舞踊・伝統音楽・織物・絵画・工作などの活動用品や図書室の蔵書が供与され、環境美化活動、村への出張活動、子どもの権利に関する研修、首都ヴィエンチャンへのスタディツアーが実施されました。



また、同県本部の4年目の追加支援として、両県に多い不発弾の被害防止啓発事業が始まりました。研修を受けた JL 達が不発弾の多い地域へ出張し、村の子ども達に不発弾の危険性や発見した際の対応について劇やゲームを通じて教えています。

■ルアンパバン県・郡 CCC

自治労佐賀県本部のご支援を頂いて2010年度から2年間の事業期間で実施しています。県の CCC 図書室には図書や読書机・椅子を、郡の CCC には図書やスポーツ・絵画などの活動用具、伝統楽器を支援しました。

その他の活動

■台風被害復興支援

2009年9月の台風被害復興支援として、セコン県ラマーム郡の子ども達が学校に戻れるよう制服や文房具を配布しました。

■少数民族学校支援

カムワン県の少数民族学校 (生徒数約360名) へ、書き損じハガキ収集による寄付で冬服や生活用品を支援しました。

ラオス事業の今後

図書館事業では、ラオス図書館協会の組織整備を支援し、ラオス国内の図書館運営を支える全国組織としての育成をめざします。ヴィエンチャン市立図書館には館長・副館長の任命を始め、運営体制の自立化を市当局に求めていきます。コミュニティ図書館・図書室に関しては、過去3年間の支援のフォローアップを行います。

CCC 事業では、ルアンパバン県で全郡に、シェンクワン県でも7郡中2郡に CCC が開設されており、今後は郡レベルの設立を奨励・支援していきます。

ベトナム Viet Nam

ベトナム概況

・支援が必要な背景

開発が進む北部の港町ハイフォン市では、貧富の格差が広がっています。経済発展から取り残された人々、特に困難な状況にある子ども達の権利を守る活動が必要とされています。

・支援の目標、目的

ハイフォン市の児童保護基金をパートナーとして、市内の困難な状況にある子ども達の保護と教育を受ける権利の実現および障がい児福祉の向上をめざします。

ベトナム子どもの家支援事業

■子どもの家概況

ベトナム子どもの家は1995年、自治労の支援により困難な状況にある子ども達の保護施設として北部の港町ハイフォン市に設立されました。その後、2004年にエファジャパンが支援を引き継ぎ現在に至っています。2010年度は7名の子どもを保護し、生活の保障と教育の機会を提供しました。また、施設は周辺の子どもの補習教室や課外活動、職業訓練の場にもなっています。

■児童保護ソーシャルワーク・センター

子どもの家を困難な状況にある子ども達の保護施設からハイフォン市全体の児童福祉行政機関である児童保護ソーシャルワーク・センターに改編する計画が5月に判明しました。詳細を知るため、8月に自治労中央本

部と共にハイフォン市労働者傷病兵社会福祉局と協議を行いました。センターは福祉局の直轄機関として、児童福祉に関する情報提供や相談活動、支援を要する子どもへの介入などを実施するとのことです。計画はハイフォン市人民委員会の承認待ちで、2010年度中に改編はありませんでした。



アジア子どもの家奨学金基金

1999年より自治労栃木県本部が500万円をハイフォン市に委託し、その利子を運用して奨学金事業を開始しました。奨学金基金は児童保護基金が管理し、年に一回市内の困難な状況におかれた子ども達に奨学金を支給しています。

2010年度は、88名に1人当たり50万ドン（約2500円）の奨学金と10万ドン（約500円）のギフトを支給しました。



ハイフォン市障がい児教室活動支援

2009年度にハイフォン市の障がい児状況調査を行いました。調査結果に基づき、コミュン（町村）レベルでの支援の試みとして、障がい児教室5カ所の活動支援を始めました。

開始に先がけ、障がい者福祉に従事されている2名の自治労組合員の方に教室担当職員5名への研修を実施していただきました。



ベトナム事業の今後

子どもの家の設立で始まったハイフォン市における困難な状況にある子ども達への支援活動は、子どもの家の改編によりハイフォン市全体の児童福祉サービス支援に拡大していく可能性があります。支援の内容や規模を再検討し、実施していきます。

タイ Thailand

パラミラーニングセンター支援

ビルマ労働組合連盟 (FTUB) は、ビルマ (ミャンマー) の労働組合のナショナルセンターです。国内で活動が禁止されているので、ビルマ国境沿いのタイ側を中心に国外でビルマ国民の自由と民主主義のために活動を続けています。タイ王国ターク県メソートにあるパラミラーニングセンターは、ビルマからの移住労働者子弟のために

FTUB が運営する教育施設で、500 名近い子ども達が学んでいます。

エファジャパンは、パラミラーニングセンターへの支援を決定した自治労大阪府本部と FTUB の調整役を担うことになりました。2010 年度は、保育園・幼稚園・女子寮の建設を支援しています。



緊急・人道支援

エファジャパンでは、自然災害や紛争が起きた際に緊急人道支援を行います。2010 年度は、2009 年度に実施したハイチ大地震被災者支援募金への新たな寄付をいただいたこと、また避難所でのコレラの大発生が危惧されたことから追加の被災者支援を実施しました。

ハイチ大地震被災者支援事業

2010 年 1 月 12 日、カリブ海ハイチでマグニチュード 7.0 の地震が起こり、被災者約 370 万人、死者約 22 万人、倒壊住宅 10 万戸以上、損壊住宅 20 万戸以上という大規模な被害が発生しました。ハイチは人口の約 55% が貧困層 という最貧国で、2008 年にもハリケーンで 4 度の被災を経験したことや、今回の地震が首都を直撃したことなどから、史上最も困難な人道危機

と言われました。

2009 年度は、緊急支援として約 170 万円を 1994 年以来ハイチで活動しているアイルランドの国際援助団体 Concern Worldwide に送金しました。2010 年度は、7 月に自治労大阪府本部からの募金約 185 万円を被災者のシェルター建設に、2 月に自治労栃木県本部からの 30 万円をコレラ対策として同団体に送金しました。

エファグッズ

◆ベトナムからの刺繍製品◆

「ベトナム子どもの家」では、貧困や暴力などの理由で親と暮らせない保護児童や近隣に住む貧困層の子ども達が、自立する力と自信を養うための職業訓練教室を実施しています。エファグッズは、先生に見守られながらこの教室のなかで子ども達が身につけた技術の産物です。これらの刺繍製品をエファジャパンが「子どもの家」から買い取ることで、材料費・運搬費・事務費を除く一部が製作に関わった子どもへの報酬に、残りが「子どもの家」の運営基金に組み入れられます。商品によってその割合は異なりますが、400円の巾着の場合は250円が材料費・運搬費・事務費に、100円が縫製・刺繍・アイロンなど製作の一助を担った子どもたちに、50円が運営基金に当てられます。

エファグッズを通じて、子ども達の貯蓄や将来に活か

す技術獲得を支えるとともに「子どもの家」の自立運営を促進します。



◆ラオスからの新グッズ紹介◆

エファジャパンでは、ラオスにて活動する2団体が製作するグッズも併せて販売しています。



カラフルで表情豊かなぬいぐるみやキーホルダーは、フランスのNGOであるフレンズ・インターナショナルが実施する職業訓練により製作されたものです。カンボジア、タイ、ラオスなど世界8カ国で活動するフレンズ・インターナショナルは、都市部で取り残された子ども達や若者を支援しています。貧困家庭や疎外されている地域の親に職業訓練を実施し収益の確保と自立を支援することで、子ども達の教育機会と健康を守ります。

体に優しいオーガニック石鹸は、ラオスやカンボジアなどで女性と子どもの性的搾取や人身売買問題に取り組むフランスのNGO、アフエシップの職業訓練にて製作されています。アフエシップ・ラオスの保護施設でリハビリを受けた被害女性達による手作りの製品を購入することで、彼女達の安定した収入と持続的な力づけが可能となります。

現在販売中のエファグッズ商品は、エファジャパンホームページにてご覧いただけます。（オーガニック石鹸や一部の商品はホームページに掲載しておりません。イベント等への出店時に販売いたします。）

【収支】

| | | | | | |
|------|----------------|-----------|------|--------------|-----------|
| 収入 | 「ベトナム子どもの家」グッズ | 282,590 | 支出 | 仕入れ、輸送経費、雑費等 | 1,997,318 |
| | その他グッズ | 111,550 | | | |
| | 自治労布袋 | 3,419,550 | | | |
| 収入合計 | | 3,813,690 | 支出合計 | | 1,997,318 |
| | 利益 | 1,816,372 | | | |

国内事業

子どもの権利推進シンポジウム・意見交換会

11月4日、「子どもの権利推進シンポジウム -子どもに対する暴力のない社会をめざして-」と題したシンポジウムを、エファジャパンとNPO法人子どもすこやかサポートネット、NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク（オレンジリボン運動事務局）、スウェーデン大使館が共催で実施しました。本シンポジウムでは、1979年に体罰を含め子どもへのあらゆる暴力を世界で初めて法的に禁止したスウェーデンから、国会議員やNGO事務総長、大学教授を招聘しました。子どもへの体罰に関するスウェーデン国民の意識と積極的な活動参加や、体罰が子どもの心身に与える望ましくない長期的な影響について、道徳的根拠と科学的事実をもって説明されました。

翌5日には、チャイルドライン支援議員連盟に加盟している議員の方々や、弁護士、社会福祉士、臨床心理

士など子どもや家族に関わる専門家の方々と共に、日本国内での体罰禁止への動向や専門機関間の連携体制などについて意見交換がなされました。日本とスウェーデンの類似・相違点を考慮しながら、今後の活動促進に向けて検討しました。

<参加者の感想>

- ・「“体罰”というこれまで話題にすることのなかった問題を取り上げられ、有益な内容だった。」
- ・「児童虐待への対応について、子どもへの保護機能と保護者に対する法的な規制や罰則が論じられていたが、現代の子育てのなかで保護者が抱える困難さや、その支援についても十分な言及が必要だと思った。」

その他イベント・集会

- ・NTT 労働組合児童労働撲滅キャンペーンイベント（5/15・兵庫、5/30・神奈川）
- ・第31回自治労全国保育集会（8/1・和歌山）
- ・自治労第82回定期大会（8/26～27・徳島）
- ・自治労第96回大分県本部定期大会（9/16～17・大分）
- ・自治労第18回長野県本部定期大会（9/28～29・長野）他

書き損じハガキ回収活動

みなさまからの温かく心強いご協力をいただいている書き損じハガキ回収活動は、2010年度に飛躍的な成果を達成することができました。2010年度はボランティアの方にデザインしていただいた2種類の新しい回収箱も作成し、多くの組合や病院、保育園などに設置していただきました。おかげさまでハガキを2万7千枚以上、未使用切手も多数ご寄付いただき、2010年度の合計は1,340,096円（手数料差し引き後の切手額面）、昨年度の約3倍となりました。このほか未使用テレホンカードや図書カード、プリペイドカードなども500枚以上をご寄付いただきました。本当にありがとうございます。

この成果を受け、2010年度からハガキのご寄付のみによる支援を実施しました。2010年12月にはカンボジア子どもの家・国立幼稚園教員養成学校へ自転車50台を寄贈し、経済的に苦しい訓練生の交通費負担を大きく削減することができました。2011年1～2月にはラオス・カムワン県タケク少数民族学校の子ども達へ、防寒服と石鹸や歯磨き粉などの生活用品、学用品を寄贈



し、子ども達の健康的な生活を促進することができました。今後も順次支援を実施していきます。

回収活動は年間通じて継続的に実施しています。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

国内事業

HPリニューアル

2010年10月、エファジャパンホームページを全面リニューアルしました。デザインやレイアウトを見やすく変更したほか、会員入会や問合せ用のフォームの作成、オンラインクレジット決済の導入、エファグッズショッピングカートの設置など様々な機能を追加したことにより使いやすいホームページが出来上がりました。

リニューアルオープン以降、フォームを使ったお問い合わせや資料請求なども増えてきています。



広報その他

■広報誌『えんぱわ』（季刊：第17号～第20号）

主にエファジャパン会員、関係者、自治労各県本部等へ配布するほか、全国の自治体国際化協会やボランティアセンターへ送付しています。

【特集記事】

第17号「ラオス セコン県子ども文化センター開館」

第18号「日本の授業をモデルにもっと楽しく勉強！」
(カンボジア)

第19号「活動の場を必要とするベトナムの障がい児たち」

第20号「子ども達を育む別れと出会い～保護施設での成長」(カンボジア)

■エファ通信（メールマガジン）

原則月1回発行。エファジャパン会員ご希望の方に配信。バックナンバーはエファジャパンHPでも閲覧できます。

■エファジャパン団体パンフレット

昨年度作成した新しいデザインのパンフレットの配布を開始しました。

■自治労通信での記事・広告掲載

自治労中央本部で発行されている「自治労通信」誌上において、エファジャパンの活動に関する記事や裏表紙広告欄への広告掲載などにご協力いただきました。

■自治労プレスリリース

自治労各県本部へ、エファの最近の活動からピックアップした話題をプレスリリースとして配信しています。リリースの内容や添付の写真は、各県本部や単位組合の機関紙やWebサイトへの転載自由となっており、いくつかの機関誌等に掲載していただきました。

ボランティア

■エファボラ

月1回の事務局ボランティアデー〈エファボラ〉を継続しています。発送物の封入やエファグッズの仕分けや在庫確認、書き損じハガキのカウントなどをお手伝いいただいています。

■デザインボランティア

2010年度もデザインボランティアの鳴海朝子さんに書き損じハガキチラシ、書き損じハガキ回収箱、カンボジア市民団体 SCADP の団体パンフレットなどをデザインしていただきました。



SCADP 日本語パンフレット

収支計算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

特定非営利活動法人 エファジャパン

(単位：円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
|--------------------|--------------------|-------------------|---------------------|
| I 経常収入の部 | | | |
| 1 会費収入 | 4,930,000 | 5,064,000 | △ 134,000 |
| 正会員 (個人及び団体) | 2,280,000 | 2,280,000 | 0 |
| シニア会員 (個人) | 150,000 | 144,000 | 6,000 |
| 賛助会員 (個人) | 500,000 | 440,000 | 60,000 |
| 賛助会員 (団体) | 2,000,000 | 2,200,000 | △ 200,000 |
| 2 収益事業費 | 4,900,000 | 3,920,090 | 979,910 |
| グッズ | 4,700,000 | 3,813,690 | 886,310 |
| エファグッズ | 1,200,000 | 282,590 | 917,410 |
| その他グッズ | 0 | 111,550 | △ 111,550 |
| ベトナム布袋 | 3,500,000 | 3,419,550 | 80,450 |
| その他 | 200,000 | 106,400 | 93,600 |
| 3 寄付 (エファパートナー) | 2,600,000 | 2,409,000 | 191,000 |
| パートナー (個人) | 600,000 | 429,000 | 171,000 |
| パートナー (団体) | 2,000,000 | 1,980,000 | 20,000 |
| 4 補助金・助成金収入 | 36,759,820 | 35,307,858 | 1,451,962 |
| 自治労中央本部 | 15,000,000 | 15,000,000 | 0 |
| 自治労共済 | 15,000,000 | 15,000,000 | 0 |
| その他 | 6,759,820 | 5,307,858 | 1,451,962 |
| 5 寄付金収入 | 7,000,000 | 19,679,954 | △ 12,679,954 |
| 目的指定寄付 | 5,000,000 | 16,851,507 | △ 11,851,507 |
| その他 (一般寄付・募金) | 2,000,000 | 2,828,447 | △ 828,447 |
| 6 雑収入 | 0 | 28,815 | △ 28,815 |
| 経常収入合計 | 56,189,820 | 66,409,717 | △ 10,219,897 |
| II 経常支出の部 | | | |
| 1 海外事業費 | 29,997,000 | 36,411,036 | △ 6,414,036 |
| ①ベトナム事業費 | 7,410,000 | 4,225,858 | 3,184,142 |
| 仕入れ | 2,700,000 | 1,929,427 | 770,573 |
| グッズ諸経費 | 250,000 | 47,052 | 202,948 |
| 活動費 | 4,460,000 | 2,249,379 | 2,210,621 |
| ②カンボジア事業費 | 6,140,000 | 7,511,198 | △ 1,371,198 |
| 活動費 | 6,140,000 | 7,511,198 | △ 1,371,198 |
| ③ラオス事業費 | 15,810,000 | 15,014,316 | 795,684 |
| 仕入れ | 0 | 17,549 | △ 17,549 |
| グッズ諸経費 | 0 | 3,290 | △ 3,290 |
| 活動費 | 15,810,000 | 14,993,477 | 816,523 |
| ④タイ事業費 | 0 | 5,182,031 | △ 5,182,031 |
| 活動費 | 0 | 5,182,031 | △ 5,182,031 |
| ⑤人道支援 | 637,000 | 4,477,633 | △ 3,840,633 |
| 2 国内事業費 | 9,500,000 | 7,293,291 | 2,206,709 |
| ①国内事業推進費 | 4,300,000 | 2,719,845 | 1,580,155 |
| 収益事業費 | 100,000 | 89,772 | 10,228 |
| 活動費 | 4,200,000 | 2,630,073 | 1,569,927 |
| ②広報事業費 | 5,200,000 | 4,573,446 | 626,554 |
| 3 管理費 | 18,427,000 | 18,129,028 | 297,972 |
| 家賃 | 3,240,000 | 3,233,496 | 6,504 |
| 事務人件費 | 6,420,000 | 6,362,756 | 57,244 |
| 光熱費 | 140,000 | 141,729 | △ 1,729 |
| 通信費 | 300,000 | 327,779 | △ 27,779 |
| 消耗品費 | 420,000 | 341,432 | 78,568 |
| 旅費交通費 | 460,000 | 690,430 | △ 230,430 |
| 理事会運営費 | 350,000 | 244,480 | 105,520 |
| 法定福利費 | 1,850,000 | 1,753,945 | 96,055 |
| 印刷費 | 250,000 | 144,776 | 105,224 |
| 機器リース代 | 450,000 | 458,961 | △ 8,961 |
| 福利厚生費 | 60,000 | 31,231 | 28,769 |
| 支払手数料 | 90,000 | 90,380 | △ 380 |
| 租税公課 | 10,000 | 2,433 | 7,567 |
| 研修費 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| 新聞図書費 | 20,000 | 15,840 | 4,160 |
| 業務委託費 | 1,900,000 | 1,842,360 | 57,640 |
| 退職給付費用 | 2,447,000 | 2,447,000 | 0 |
| 4 為替差損 | 0 | 65,443 | △ 65,443 |
| 5 法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 経常支出合計 | 57,994,000 | 61,968,798 | △ 3,974,798 |
| 経常収支差額 | △ 1,804,180 | 4,440,919 | △ 6,245,099 |
| III その他資金収入 | | | |
| その他資金収入合計 | 0 | 0 | 0 |
| IV その他資金支出 | | | |
| その他資金支出合計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期収支差額 | △ 1,804,180 | 4,440,919 | △ 6,245,099 |
| 前期繰越収支差額 | 26,130,932 | 26,130,932 | 0 |
| 次期繰越収支差額 | 24,326,752 | 30,571,851 | △ 6,245,099 |

財産目録

2011年3月31日現在

特定非営利活動法人 エファジャパン

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|----------------|------------|------------|
| I 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金預金 | 30,309,560 | |
| 現金 現金手許有高 | 412,047 | |
| 普通預金 | 11,631,848 | |
| 中央労働金庫市谷支店 | 4,447,278 | |
| 東京三菱銀行市ヶ谷支店 | 4,998,130 | |
| 東京三菱 | 2,186,440 | |
| 郵便振替口座 | 18,265,665 | |
| 未収会費 | 414,000 | |
| 棚卸資産 | 223,183 | |
| 前払金 | 1,517,580 | |
| 立替金 | 190,765 | |
| 未収金 | 295,894 | |
| 前払費用 | 269,458 | |
| 仮払金 | 1,088,010 | |
| 流動資産合計 | | 34,308,450 |
| 2 固定資産 | | |
| その他の固定資産 | | |
| 保証金 | 2,600,000 | |
| その他の固定資産合計 | 2,600,000 | |
| 固定資産合計 | | 2,600,000 |
| 資産合計 | | 36,908,450 |
| II 負債の部 | | |
| 1 流動負債 | | |
| 未払金 | 1,609,801 | |
| 前受金 | 34,000 | |
| 預り金 | 148,798 | |
| 源泉税 | 44,470 | |
| 健康保険 | 674 | |
| 雇用保険 | 56,554 | |
| 住民税 | 26,500 | |
| その他 | 20,600 | |
| 未払法人税等 | 70,000 | |
| 流動負債合計 | | 1,862,599 |
| 2 固定負債 | | |
| 退職給付金引当金 | 1,874,000 | |
| 固定負債合計 | | 1,874,000 |
| 負債合計 | | 3,736,599 |
| 正味財産 | | 33,171,851 |

貸借対照表

2011年3月31日現在

特定非営利活動法人 エファジャパン

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|-------------------|------------|-------------------|
| I 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金預金 | 30,309,560 | |
| 現金 | 130,637 | |
| 小口現金 | 281,410 | |
| 普通預金 | 11,631,848 | |
| 郵便振替口座 | 18,265,665 | |
| 未収会費 | 414,000 | |
| 棚卸資産 | 223,183 | |
| 前払金 | 1,517,580 | |
| 立替金 | 190,765 | |
| 未収金 | 295,894 | |
| 前払費用 | 269,458 | |
| 仮払金 | 1,088,010 | |
| 流動資産合計 | | 34,308,450 |
| 2 固定資産 | | |
| その他の固定資産 | | |
| 保証金 | 2,600,000 | |
| その他の固定資産合計 | 2,600,000 | |
| 固定資産合計 | | 2,600,000 |
| 資産合計 | | 36,908,450 |
| II 負債の部 | | |
| 1 流動負債 | | |
| 未払金 | 1,609,801 | |
| 前受金 | 34,000 | |
| 預り金 | 148,798 | |
| 未払法人税等 | 70,000 | |
| 流動負債合計 | | 1,862,599 |
| 2 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,874,000 | |
| 固定負債合計 | | 1,874,000 |
| 負債合計 | | 3,736,599 |
| III 正味財産の部 | | |
| 正味財産 | | 33,171,851 |
| (うち当期正味財産減少額) | | (4,440,919) |
| 負債及び正味財産合計 | | 36,908,450 |

特定非営利活動法人エファジャパン 2010年度年次報告書

発行 特定非営利活動法人エファジャパン 2010年7月27日

〒102-0081 東京都千代田区四番町4 日本染色会館3階

電話 03-3263-0337 FAX 03-3263-0338 E-mail info@efa-japan.org

ホームページ <http://www.efa-japan.org>



すべての人々に、^{ちから}力を。